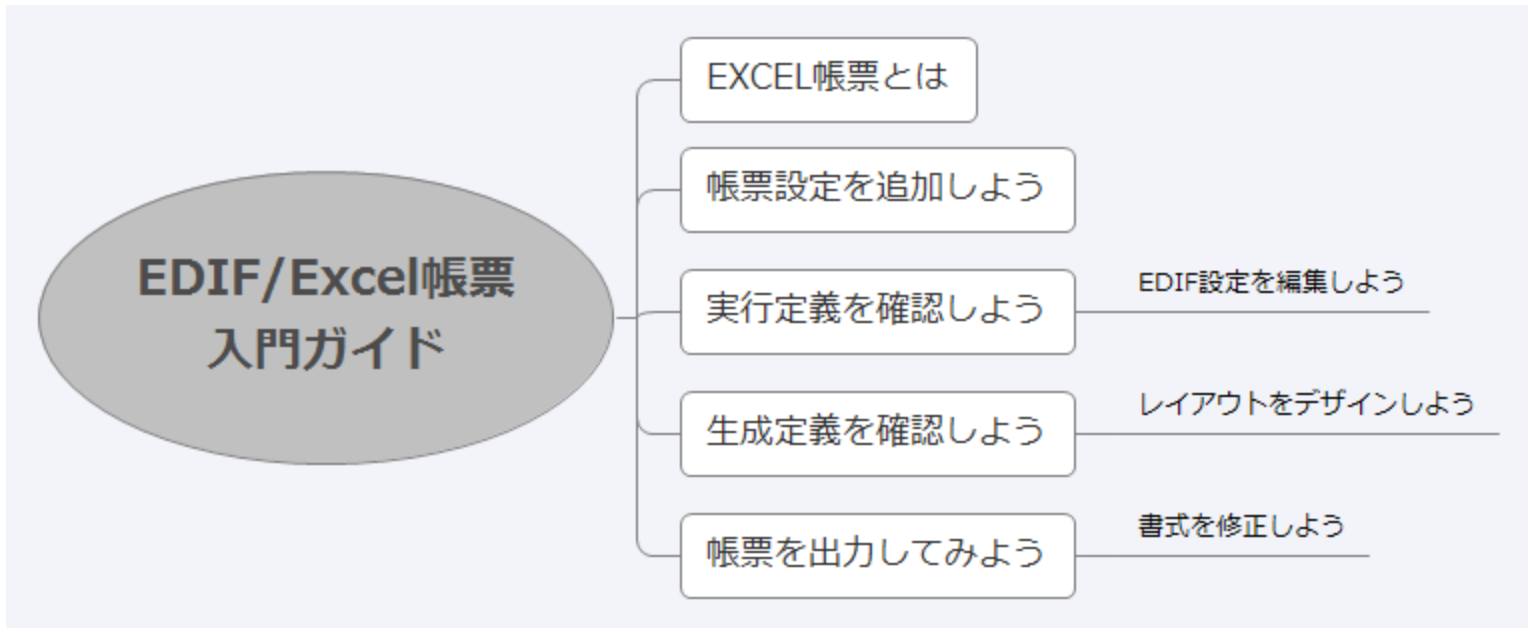


FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド

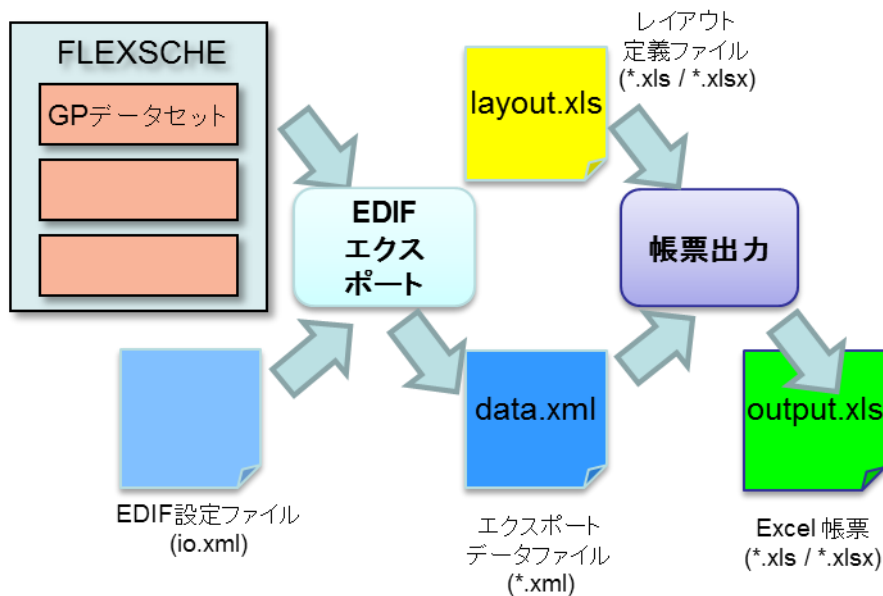


目次



EXCEL帳票とは

- EDIFを用いて出力された一時データを元に、それをEXCEL形式の帳票として出力する機能です。
- 利用するにはFLEXSCHE EDIF の他、Microsoft Excel 2003以降が必要です。
- レイアウトデザインもEXCELで行うので、多くの方に操作に抵抗なく編集していただけます。



作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000 検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000 組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000 切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000 切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001 梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001 検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001 組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001 切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001 切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002 梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002 検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002 組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002 切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002 切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003 梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003 検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003 組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003 研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003 切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004 梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

- この入門ガイドでは「EDIF入門ガイド」に引き続き、簡単な作業指示書を出します。
- 本項の部分から体験したい場合はサンプルデータ「EDIF入門ガイド2」をご利用いただけます。その場合は「EDIF入門ガイド」p.4「プロジェクトを複製しよう」を参考にサンプルプロジェクトを複製してご利用ください。

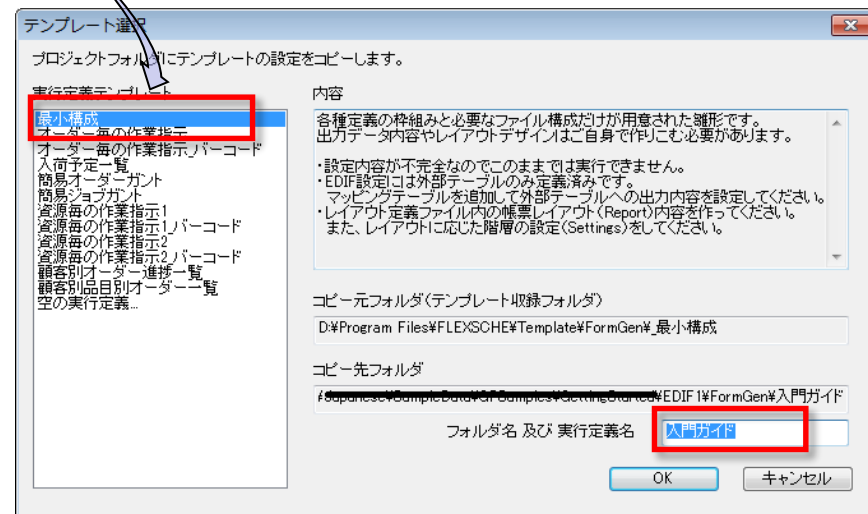
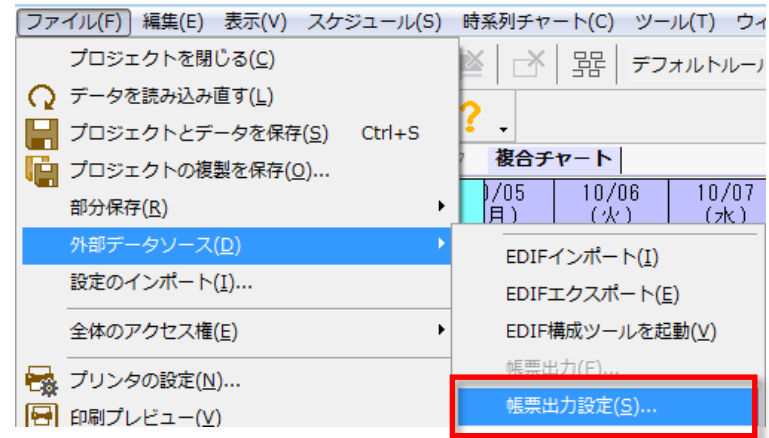
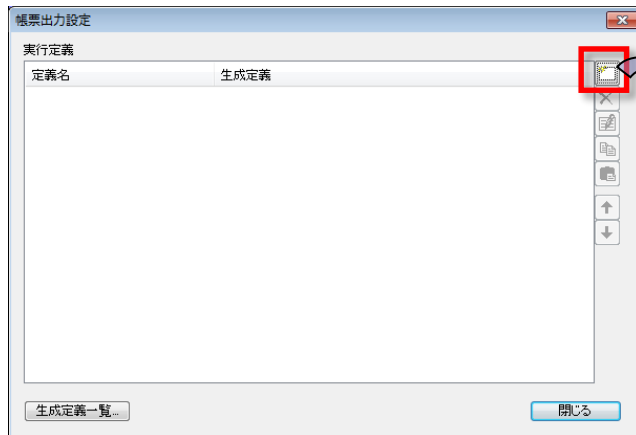
- それでは、EXCEL帳票の出力までを実際に体験してみましょう。

最終出力物イメージ

帳票設定を追加しよう

メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力設定」を選択してください。

実行定義一覧画面が表示されますが、今はまだ設定がありません。設定を追加しましょう。



帳票の設定情報は構成が少し複雑です。簡単に設定を作れるようにテンプレートがいくつか用意されています。今回は「最小構成」を選択してください。フォルダ及び実行定義名は「入門ガイド」という名前にして「OK」してください。

実行定義を確認しよう

帳票を出力するには1つの実行定義と1つ以上の生成定義という設定情報が必要です。
テンプレートから定義を作ると、自動的に各定義1つずつ(実行定義[入門ガイド]、生成定義[入門ガイド])作られます。
まず実行定義の内容を確認します。編集画面を開いてください。

実行定義

帳票出力処理の呼び出し単位となる設定です。
以下の情報を管理します。

- ・ EDIF設定
帳票内容を構成するデータをEDIFエクスポートによって出力します。
編集ボタンを押すとEDIF構成ツールを呼び出して編集できます。
- ・ 実行する生成定義
[入門ガイド:]という生成定義がすでに含まれています。どのような帳票を出力するのかはこの定義で決まります。

帳票出力設定

実行定義	生成定義
入門ガイド	入門ガイド

実行定義設定

実行定義名: 入門ガイド

帳票出力前にEDIFを実行する

EDIF設定ファイル: \$(ProjectFolder)FormGen\入門ガイド\io_form.xml

グループ:

説明

各種定義の枠組みと必要なファイル構成だけが用意された雛形です。出力データ内容やレイアウトデザインはご自身で作成にも必要があります。

- ・ 設定内容が不完全なのでこのままでは実行できません。
- ・ EDIF設定には外部テーブルのみ定義済みです。
- ・ マッピングテーブルを追加して外部テーブルへの出力内容を設定してください。
- ・ レイアウト定義ファイル内の帳票レイアウト(Report)内容を作ってください。

また、レイアウトに応じた階層の設定(Settings)をしてください。


※ctrl + enter>で改行

実行する生成定義

定義名
入門ガイド:

OK キャンセル

EDIF設定を編集しよう

EDIF設定情報を作っていきます。まず  ボタンをクリックしテーブルマッピングを追加します。設定画面が開くので以下のように設定してOKしてください。

テーブルマッピング名: test

任意の名前です。分かりやすい名前をつけてください。

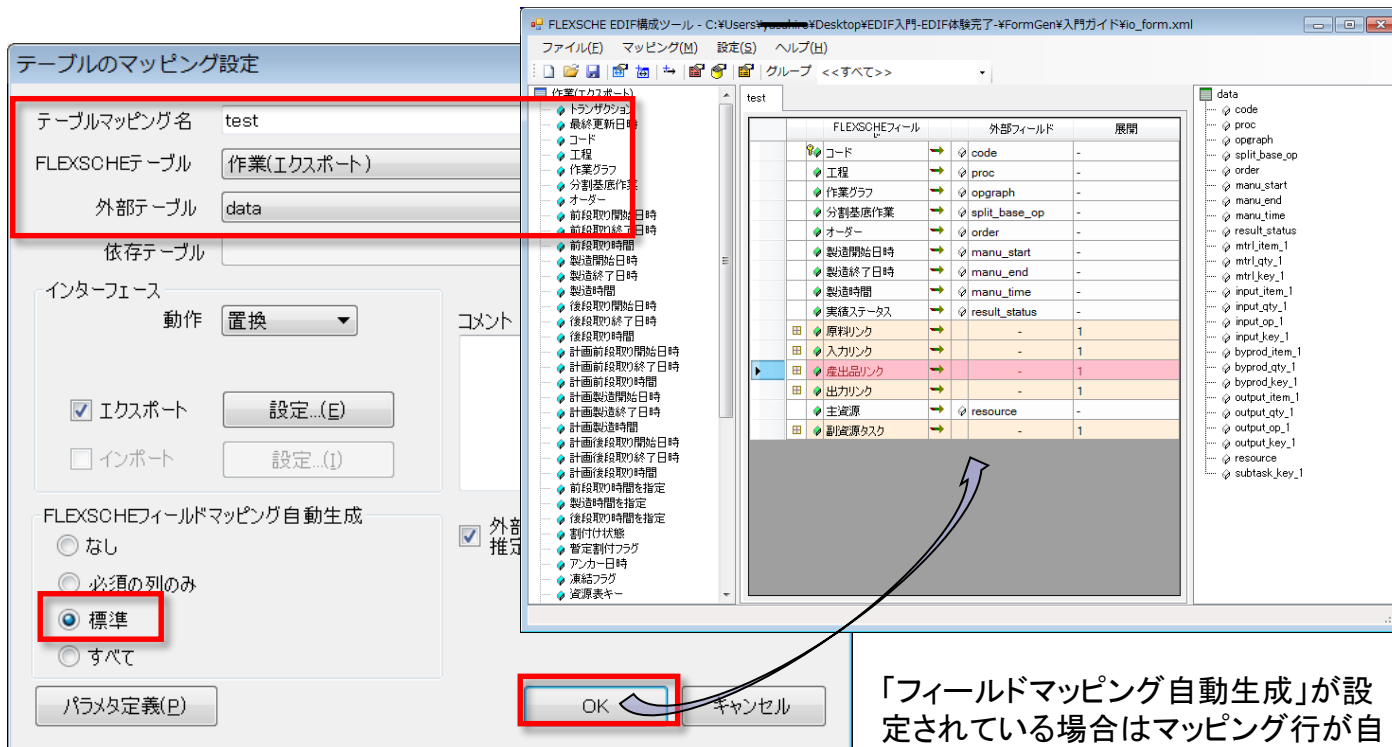
今回は「test」としました。

FLEXSCHEテーブル: 作業(エクスポート)

作業指示書を作るので、各作業の情報を出力します。

外部テーブル: data

定義済み外部テーブルを指定します。



テーブルのマッピング設定

テーブルマッピング名 test

FLEXSCHEテーブル 作業(エクスポート)

外部テーブル data

依存テーブル

インターフェース 動作 置換

コメント

エクスポート 設定...(E)

インポート 設定...(I)

FLEXSCHEフィールドマッピング自動生成

なし

必須の列のみ

標準

すべて

パラメタ定義(P)

OK キャンセル

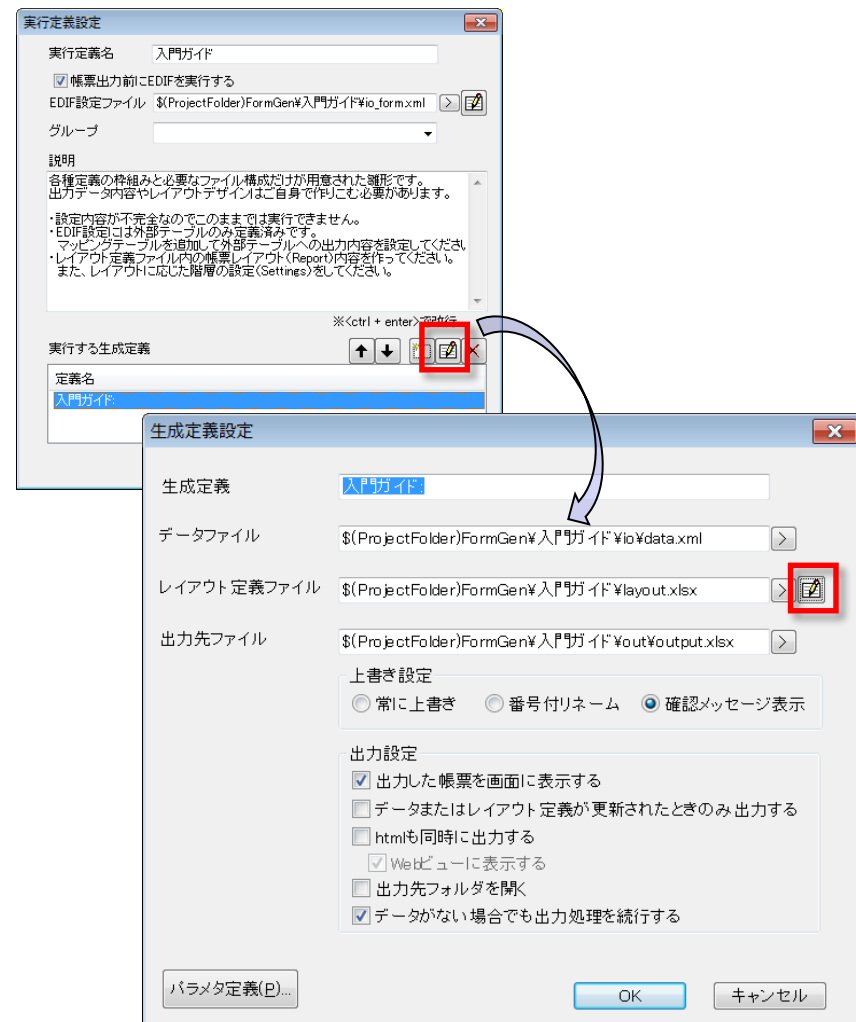
FLEXSCHEフィールド	外部フィールド	展開
コード	code	-
工程	proc	-
作業グラフ	opgraph	-
分割基底作業	split_base_op	-
オーダー	order	-
製造開始日時	manu_start	-
製造終了日時	manu_end	-
製造時間	manu_time	-
実績ステータス	result_status	-
原料リンク	-	1
入力リンク	-	1
産出リンク	-	1
出力リンク	-	1
主資源	resource	-
副資源タスク	-	1

「フィールドマッピング自動生成」が設定されている場合はマッピング行が自動的に作られます。

これで、data.xmlに作業情報を出力するための設定ができました。保存してください。

生成定義を確認しよう

次に生成定義の内容を確認します。実行定義設定画面の下部にある生成定義[入門ガイド:]の編集画面を表示してください。



生成定義

帳票を構築するために必要な各ファイルパスを管理します。

・データファイル

帳票の中身となるデータファイルを指定します。
先程のEDIFエクスポートによって出力されるデータファイルパスがすでに指定されています。

・レイアウト定義ファイル

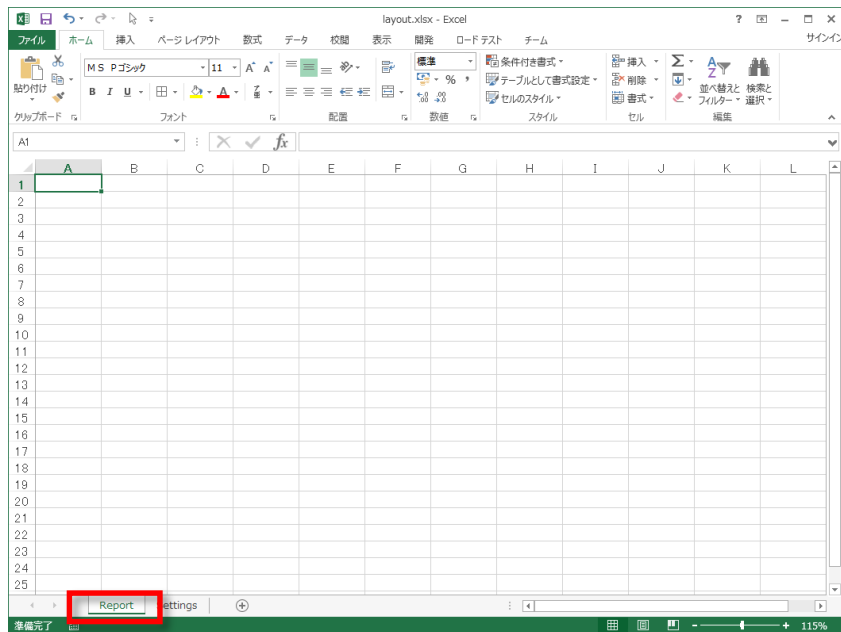
帳票デザイン用のEXCELファイルを指定します。
テンプレートから作ったのでファイルは自動的に用意されていますが、「最小構成」の場合はレイアウト内容がまだありません。
編集ボタンを押すとEXCELが起動してファイルを編集できます。

・出力先ファイル

生成した帳票ファイルの出力先パスを指定します。

レイアウトをデザインしよう

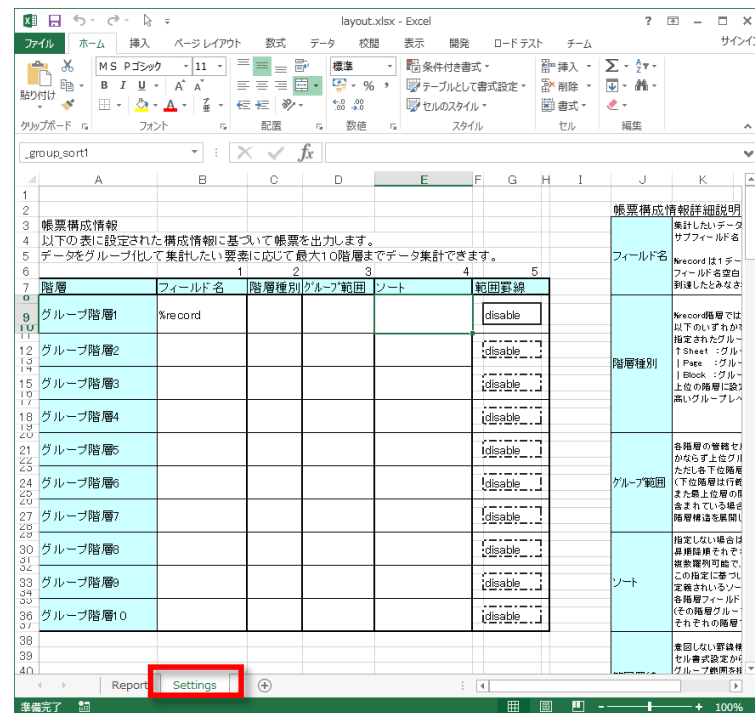
生成定義編集画面からレイアウト定義ファイルを編集します。編集ボタンを押すとEXCELが立ち上がりlayout.xlsxの内容を編集できます。レイアウト定義ファイルは[Report]と[Settings]という2つのシートで構成されます。



[Report]

帳票デザインを設定します。

タイトルや表の枠組みなどを自由にレイアウトすることができます。



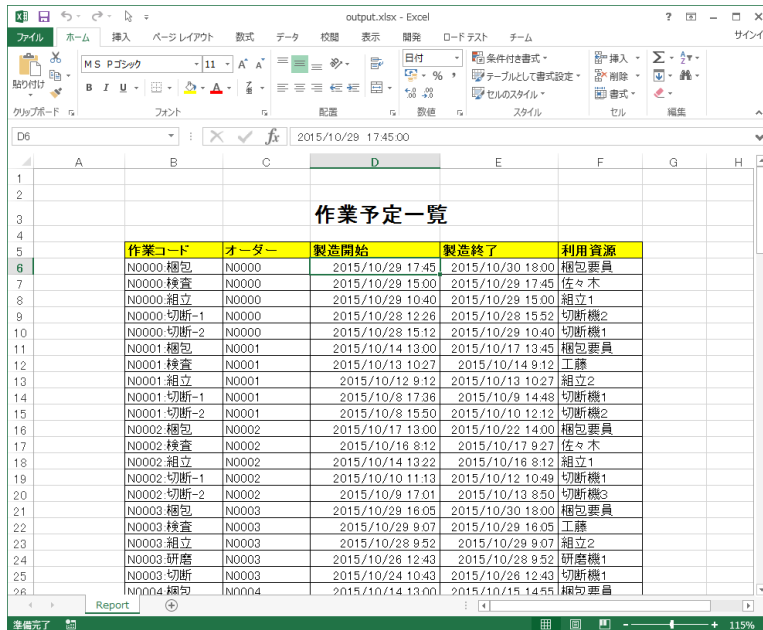
[Settings]

Reportシートでレイアウトした内容の解釈方法を設定します。この設定によってデータ要素に応じてどの行が増えるのかなどが決まります。

また、Reportシート内に記入できる書式説明などのリファレンスも兼ねています。

レイアウトをデザインしよう

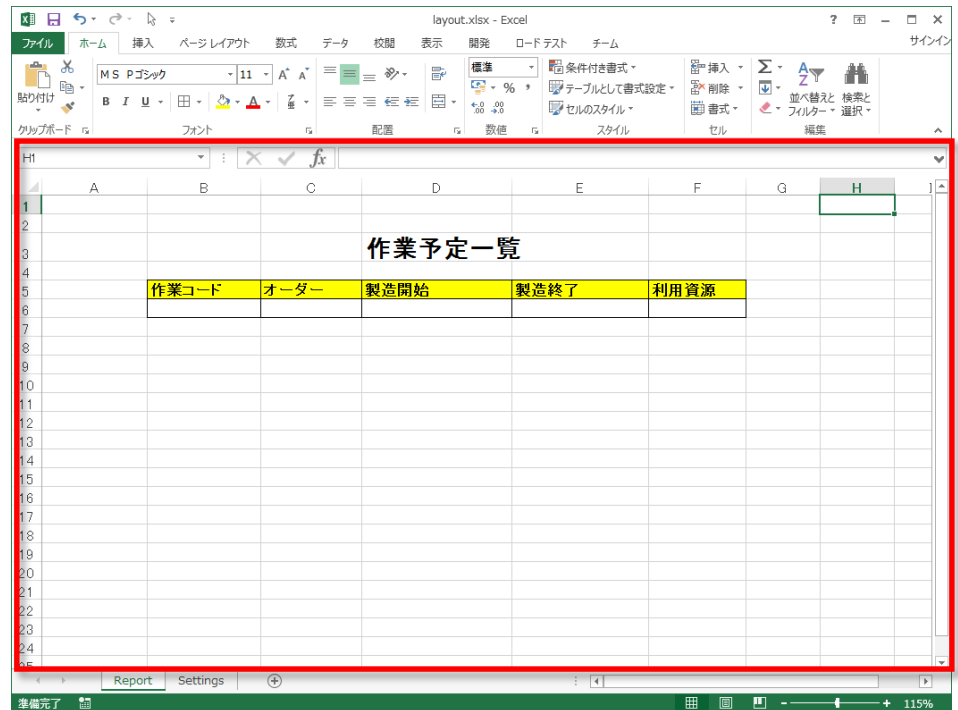
今回は下図のような帳票を作ります。



output.xlsx - Excel

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源	
N0000	梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000	検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000	組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000	切断-1	N0000	2015/10/28 12:28	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000	切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001	梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001	検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001	組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001	切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001	切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002	梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002	検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002	組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002	切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002	切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003	梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003	検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003	組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003	研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003	切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004	梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

[Report]シートにレイアウトデザイン乗せていきましょう。最初は真っ白です。自由に編集して表形式のデザインを作ってください。

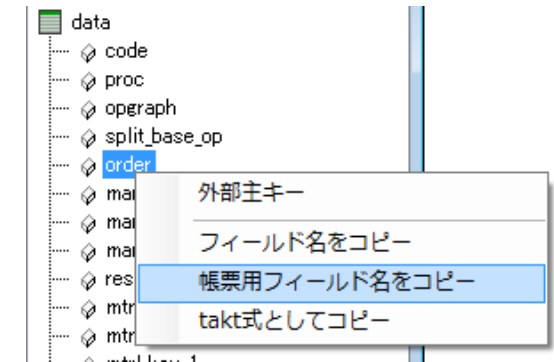
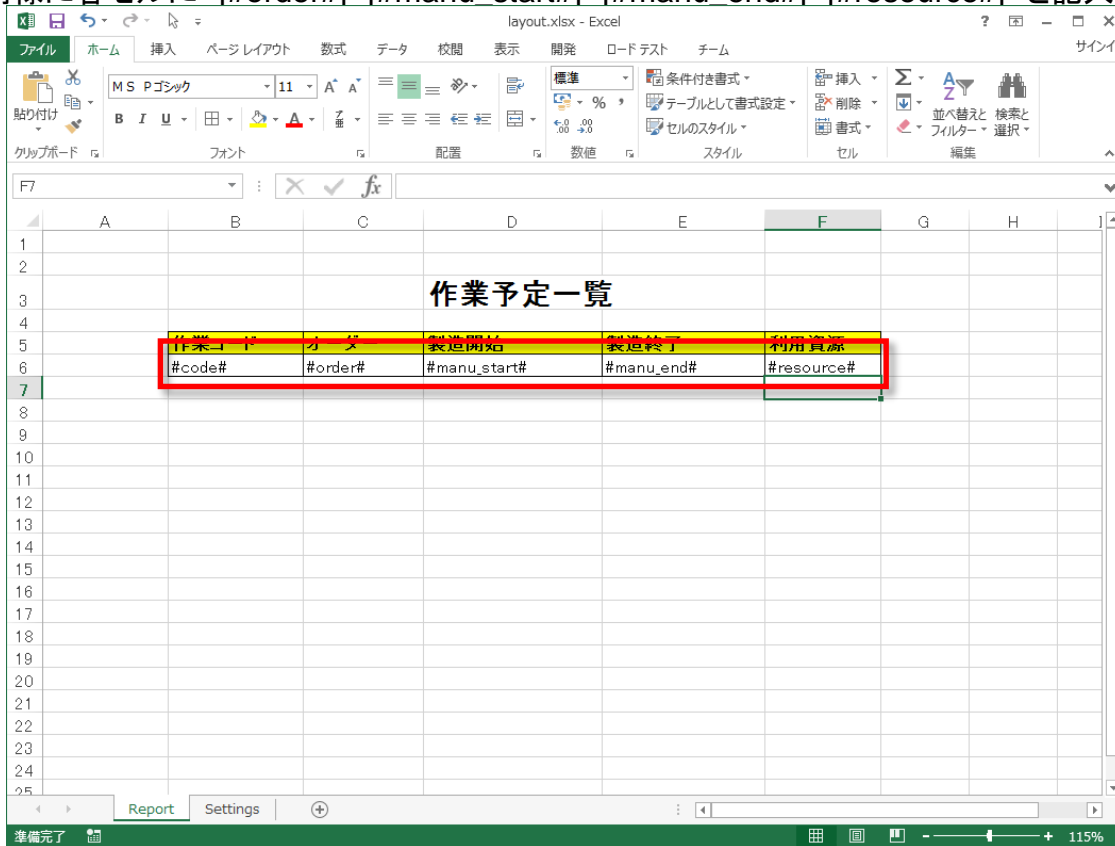


layout.xlsx - Excel

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
-------	------	------	------	------

レイアウトをデザインしよう

枠ができれば、どのセルに何の情報を表示するのかを設定していきます。
 実際に作業コードを表示させたい箇所のセル内容に [#code#] と記入します。
 表示させたいフィールド名を#括りで記述するのはExcel帳票機能の決まりごとです。
 (このフィールド名はEDIFエクスポートした外部フィールド名が対応します。)
 同様に各セルに [#order#] [#manu start#] [#manu end#] [#resource#] と記入してください。



EDIF構成ツールの外部フィールドのツリーでは
 各要素を右クリックすると
 #fieldname#
 形式の文字列をクリップボードにコピーできます

デザイン用の[Report]シートはこれで完成です。引き続き[Settings]シートを設定します。

レイアウトをデザインしよう

今回のデザインでは6行目の部分がデータ行で、データ件数に応じてこの行部分が繰り返される(肉付けされていく)ことを期待しています。

[Settings]シートにそのような解釈を記述します。

The image shows two Excel sheets side-by-side. The left sheet is 'Report' and the right is 'Settings'.

Report Sheet (作業予定一覧):

作業コード	オーダー	発注開始	発注終了
#code#	#order#	#manu_start#	#manu_end#

Settings Sheet (帳票構成情報):

階層	フィールド名	階層種別	範囲	範囲罫線
グループ階層1	%record	B6:F6		disable
グループ階層2				disable
グループ階層3				disable
グループ階層4				disable
グループ階層5				disable
グループ階層6				disable
グループ階層7				disable
グループ階層8				disable
グループ階層9				disable
グループ階層10				disable

帳票構成情報詳細説明:

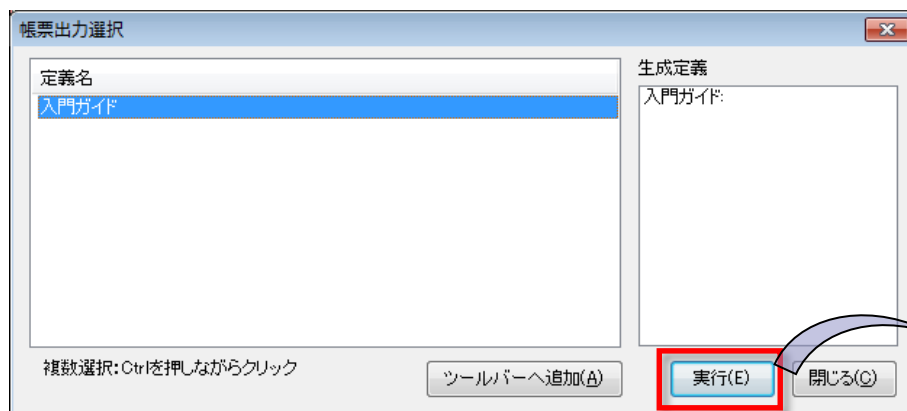
フィールド名	説明
フィールド名	Recordは1シート1レコード単位を指し、フィールド名空白またはRecordを付与し、到達したとみなされ、以降の階層の情報は...
階層種別	Record階層では無視されます。以下のいずれかを指定します。指定されたグループ範囲の単位でSheet:グループが変わるたびにシールPage:グループが変わるたびにセルBlock:グループが変わるたびにセル種上位の階層に設定されたグループレベル、高いグループレベルは設定できません。
グループ範囲	各階層の等幅セル範囲を(A1:B2)形式で必ず上階層のセル範囲に収め、また下階層の列位置指定は無視され、(下階層は行範囲のみ指定する)また最上位層の開始行を1行目とし、含まれている場合は、暗黙的にグループ階層構造を展開します。
ソート	指定しない場合は階層フィールド名の昇順、昇順降順それぞれ+を接頭文字とし、降順降順可能で、先頭のみ+を省略可能。この指定に基づいて未指定階層から上位に定義されるソート情報をもとにすべての各階層フィールドごとのデータ項であること(その階層グループで正しくデータがグルそれぞれ階層で階層フィールドソート)
	範囲指定しない範囲構成となる場合にEnable

グループ階層1のグループ範囲に [B6:F6] と記入します。(各自のレイアウトデザインに応じてエリアの指定内容を変えてください)

これでlayout.xlsxも出来上がりです。保存してEXCELを閉じてください。設定はこれで完了です。帳票の設定画面も閉じてください。

帳票を出力してみよう

では帳票を出力してみましょう。
メニューから「ファイル」-「外部データソース」-「帳票出力」 を選択してください。



出力したい実行定義を選択して、実行ボタンをクリックします。

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	42306.73958	42307.75	梱包要員
N0000 検査	N0000	42306.625	42306.73958	佐々木
N0000 組立	N0000	42306.44444	42306.625	組立1
N0000 切断-1	N0000	42305.51825	42305.66111	切断機2
N0000 切断-2	N0000	42305.63383	42306.44444	切断機1
N0001 梱包	N0001	42291.54167	42294.57292	梱包要員
N0001 検査	N0001	42290.43542	42291.38333	工藤
N0001 組立	N0001	42289.38333	42290.43542	組立2
N0001 切断-1	N0001	42285.73333	42286.61667	切断機1
N0001 切断-2	N0001	42285.65992	42287.50841	切断機2
N0002 梱包	N0002	42294.54167	42299.58333	梱包要員
N0002 検査	N0002	42293.34196	42294.39404	佐々木
N0002 組立	N0002	42291.55723	42293.34196	組立1
N0002 切断-1	N0002	42287.46786	42289.45119	切断機1
N0002 切断-2	N0002	42286.70961	42290.3687	切断機3
N0003 梱包	N0003	42306.67014	42307.75	梱包要員
N0003 検査	N0003	42306.37995	42306.67014	工藤
N0003 組立	N0003	42305.4112	42306.37995	組立2
N0003 研磨	N0003	42303.53024	42305.4112	研磨機1
N0003 切断	N0003	42301.44691	42303.53024	切断機1
N0004 梱包	N0004	42291.54167	42292.82153	梱包要員

帳票が表示されました。

しかし、開始/終了の内容がおかしくなっています。
これは日時情報に対する書式指定が無いためです。

再度レイアウト定義ファイルを修正しましょう。

書式を修正しよう

生成定義編集画面を開き、レイアウト定義ファイルを編集します。
先ほどの実行定義画面内からだけでなく、生成定義一覧画面から開くこともできます。

The image shows a workflow for editing a cell's date format in an Excel spreadsheet. It includes the following components:

- 帳票出力設定 (Report Output Settings):** A dialog box with tabs for '実行定義' (Execution Definition) and '生成定義' (Generation Definition). The '生成定義' tab is active, showing a list of definitions. A red box highlights the '生成定義一覧...' (Generation Definition List...) button.
- 生成定義設定 (Generation Definition Settings):** A dialog box for editing a specific definition. It shows fields for '生成定義名' (Generation Definition Name), 'データファイル' (Data File), 'レイアウト定義ファイル' (Layout Definition File), and '出力先ファイル' (Output File). A red box highlights the '生成定義設定' (Generation Definition Settings) button.
- Excel Spreadsheet:** An Excel window titled 'layout.xlsx' showing a table with columns: '作業コード' (Job Code), 'オーダー' (Order), '製造開始' (Manufacturing Start), '製造終了' (Manufacturing End), and '利用資源' (Resource). The '製造開始' and '製造終了' cells contain the formulas '#manu_start#' and '#manu_end#' respectively. A red box highlights these cells.
- セルの書式設定 (Cell Format):** A dialog box for setting the format of the selected cells. The '日付' (Date) category is selected, and the '種類(I):' (Type) is set to '2012/2/14 13:30' (Date and Time). A red box highlights this selection.

作業予定一覧

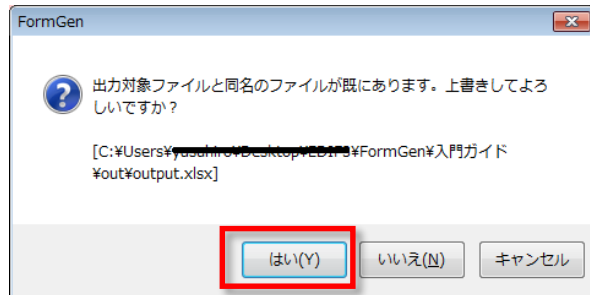
作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
#code#	#order#	#manu_start#	#manu_end#	#resource#

[#manu_start#],
[#manu_end#]
の書式設定を開き
日時フォーマットを
指定します。

保存して閉じてください。
再度帳票を出力して結果を確認しましょう。

書式を修正しよう

先ほどと同じ手順でもう一度帳票出力してください。



出力先ファイルがすでに存在する場合は上書き確認メッセージが出ますので「はい」を選びます。(確認なしで常時上書きなども設定できます)

作業コード	オーダー	製造開始	製造終了	利用資源
N0000 梱包	N0000	2015/10/29 17:45	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0000 検査	N0000	2015/10/29 15:00	2015/10/29 17:45	佐々木
N0000 組立	N0000	2015/10/29 10:40	2015/10/29 15:00	組立1
N0000 切断-1	N0000	2015/10/28 12:26	2015/10/28 15:52	切断機2
N0000 切断-2	N0000	2015/10/28 15:12	2015/10/29 10:40	切断機1
N0001 梱包	N0001	2015/10/14 13:00	2015/10/17 13:45	梱包要員
N0001 検査	N0001	2015/10/13 10:27	2015/10/14 9:12	工藤
N0001 組立	N0001	2015/10/12 9:12	2015/10/13 10:27	組立2
N0001 切断-1	N0001	2015/10/8 17:36	2015/10/9 14:48	切断機1
N0001 切断-2	N0001	2015/10/8 15:50	2015/10/10 12:12	切断機2
N0002 梱包	N0002	2015/10/17 13:00	2015/10/22 14:00	梱包要員
N0002 検査	N0002	2015/10/16 8:12	2015/10/17 9:27	佐々木
N0002 組立	N0002	2015/10/14 13:22	2015/10/16 8:12	組立1
N0002 切断-1	N0002	2015/10/10 11:13	2015/10/12 10:49	切断機1
N0002 切断-2	N0002	2015/10/9 17:01	2015/10/13 8:50	切断機3
N0003 梱包	N0003	2015/10/29 16:05	2015/10/30 18:00	梱包要員
N0003 検査	N0003	2015/10/29 9:07	2015/10/29 16:05	工藤
N0003 組立	N0003	2015/10/28 9:52	2015/10/29 9:07	組立2
N0003 研磨	N0003	2015/10/26 12:43	2015/10/28 9:52	研磨機1
N0003 切断	N0003	2015/10/24 10:43	2015/10/26 12:43	切断機1
N0004 梱包	N0004	2015/10/14 13:00	2015/10/15 14:55	梱包要員

開始/終了日時が正しく表示されました。

FLEXSCHE Excel帳票 入門ガイド Version 16.1

2017年 2月発行

株式会社フレクシェ

〒108-0075 東京都港区港南二丁目4番8号大島ビル5階

TEL: 03-6712-9549

FAX: 03-6712-9539

E-Mail: info@flexsche.com

URL: <https://www.flexsche.com/>

本マニュアルの著作権は、株式会社フレクシェにあります。株式会社フレクシェの文書による承諾を得ずに、電子的、機械的、光学的またはその他のいかなる形や手段によっても、本書の一部または全部を無断で複製、翻訳、伝送、写本することはできません。

本書の内容は、予告なく変更されることがあります。

